

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年06月04日

計画の名称	弘前市における循環のみちの実現（重点計画）												
計画の期間	令和05年度～令和05年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	弘前市												
計画の目標	安全・安心、快適な暮らしを実現するため、効率的な下水道事業の推進を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	20	A	20	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初		R5末
1	下水道事業における官民連携の導入検討進捗率を0%（R5）から33%（R5）に増加させる。			
	官民連携導入検討進捗率	0%	%	33%
	ウォーターPPP導入に向け必要な検討段階（3段階）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	官民連携導入検討事業	ウォーターPPP導入検討事業 (処理場・ポンプ場・管渠)	弘前市	■					20	-	
											小計						20		
											合計						20		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 弘前市上下水道部において、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について評価を行った。	事後評価の実施時期 令和7年6月 公表の方法 市ホームページにて公表
--	---

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和6年度（令和5年度繰越）にウォーターPPP導入検討を行い、官民連携導入検討進捗率が0%から33%へ上昇した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

本計画の最終目標は達成したが、安全・安心、快適な暮らしを実現するため、引き続き官民連携導入の検討を行い、効果的かつ効率的なウォーターPPPの導入を目指していく。

○ 目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	ウォーターPPP導入に向け必要な検討段階（3段階）（％）	
	最終 目標値	33%
	最終 実績値	33%

(参考様式) 参考図面

